

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まなび家2		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	まなび家2としては、元教員のスタッフがいるということで1人1人に合わせたの苦手教科の勉強を重点的に個別化して支援していけるということです。	支援級などで、取り出し勉強している子どもたちの苦手度合いを理解し、勉強内容を理解できるよにかみ砕いて分かるまでじっくりと向き合い、無理強いすることなく進めているところです。	子ども達が学びたいという分野を整理し、その支援先(学校や修行先と連携し)卒業しても将来の就業先まで支援してつなげていけるように強化していきたいです。
2	おでかけ体験を通して、社会性を育めるように(エチケットやマナー、ルール等)自立した生活ができるように助言している所です。	お出かけ先を興味のあるところにしたたり、子どもたちの意見を取り入れてみたり、楽しく学べる環境を提供していきます。	コミュニケーションが苦手でも、一緒に見学からやってみようとその気持ちを組み、認めたり、褒めたりして自己肯定感へとつなげていけるようにスモールステップを大切にしています。
3	毎月のプログラムがあり、(SST,ビジョントレーニング、体幹トレーニング、クッキング、菜園活動、公園遊び、お出かけ等)勉強以外の楽しいイベントを企画しています。	イベントを企画し、5領域の中でまんべんなく遊びながら学べるようにしています。季節の行事、日本文化も取り入れています。	子ども達が、生まれてきて良かった、親に感謝する心を持てるように誕生日会を通して、自分ことも大切にできることを伝え、友達のことを大切に心する心の教育もしています。社会に出た際に、必要なこと(礼節など)を日頃から伝えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午後からの利用開始時間となり、長期休みなどに利用が難しくなってしまう点があります。	職員体制を整えて、(送迎)どの時間帯でも午前中からでもサービス提供が出来るように検討しています。	学校または自宅にお迎えに行き、不登校でなかなか自宅から出てこれないお子さまにも、気軽に利用できる環境の整備と学びたい姿勢を応援する体制や居場所支援の強化もしていきたいと思っています。
2			
3			